

ものと考へられる。豊平川麓舞附近の最上部段丘を除き第二第三、第四等の段丘も之に入るものであらう。火山活動の爲めに多少の堆積はあつたが寧ろ火山は剝削のため著しく低下縮小された。扇斜路、赤井川、洞爺等のカルデラ湖は舊沖積世よりも古い時代に形成された様である。

## 新著紹介

○世界經濟地誌、北米篇 西龜正夫著 共立社發行

定價二圓七十錢

達筆な著者の輕快な文章で北米の自然と經濟地理をのべたものである、菊版二八六頁、附圖百一剛いづれも明瞭に出來てゐる、參考書としての良著であると信じる、卷末に註として、いろ／＼の學術語の解説があるのは、結構な試であると信じる、索引のないのが物足りない。(藤田)

○最新地理術語解説 耕崎正夫著 東京文林堂發行

定價十五錢

本書は著者が作つた日本地誌(未刊)の附録にした術語解説のみを知友の要望により一小冊子にしたものである。四六判二九頁の片々たるものではあるが、それでも日常の地理書や雜誌に出てくる大凡の地理の學術語に關しては、簡單ではあるが要領よく解説が出來てゐる。地學辭彙といふべきものが出ない間は、かうした小冊子と雖も猶讀者を失はぬであら

う。(藤田)

○郷土教育運動 小田内通敏著 刀江書院發行 定價八

十錢

菊版二八〇頁の冊子である、最初の方は郷土教育の必要といふこと、ルブレ、ゲッテス理論の教育化といふことが外國にあるといふことを教へ、つぎに郊外地研究の地理學的根據を論じ、日本の各地に於ける郷土研究の實際をのべてある我等はこの書によつて目下いかに郷土地理の研究が動いてゐるかを學ぶことが出來ると思ふ。(藤田)

## 雜報

○米國に於ける桐油栽培の成績 桐油には防水性と乾燥性があるので支那人は數千年以來桐油を用ひた、彼等は

有ゆる木石細工に用ひ、ヂヤンク船に防水劑として用ひ、家具にぬり、帛布、紙類に使用し、其糊性を利用して板の表面の填充劑とし甲板の填隙に用ひた、燈火用にはならぬが石鹼藥品となり、コンクリートの用にさへ供された、それが一八六九年に初て米國に輸入されてから、防水劑ペイント及ニス製造の必要品となり電氣の絶緣具、雨具、風呂場のカーテン自動車のアレーキバンド等から各種の日用品に用ひられ本品に代るべき有効品は他に見當らないので、この桐油を支那から輸入する量は年々に増加し、毎年一億ポンドの多量を渡口